

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (庄原市立山内小学校)

- ① 教科等 算数科 ② 学年 第3学年
- ③ 単元名 何倍でしょう
- ④ 本時の目標 □のa倍のb倍を求める問題を、2通りの考え方で解決しようとする。
- ⑤ 学習の流れ (1時間目/全2時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
<p>1 問題を知る。</p> <p>ゴムで動く車の走った長さをくらべました。 赤の車は2m走りました。 青の車は赤の3倍、黄の車は青の2倍走りました。 黄の車は何m走りましたか。</p> <p>2 仮説をたてる。 ・2mより長い・関係図で表す。</p> <p>3 課題をつかむ。</p> <p>関係図をつかかって、黄の車が何m走ったか考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・わかっていること、問われていることに線をひかせる。 ・挿絵やテープ図から赤、青、黄の順に長く走ったことを理解させる。 ・答えに対する仮説と求め方に対する仮説をもたせる。 ・既習事項(2量の関係図)を思い出させ、3量の場合どう表したらよいか考えさせる。 	
<p>4 関係図をかいて問題を解き、考え方を説明する。</p> <p>①順に計算する</p> <p style="text-align: center;">赤 $\xrightarrow{3倍}$ 青 $\xrightarrow{2倍}$ 黄</p> <p>$2 \times 3 = 6$ $6 \times 2 = 12$ A. <u>12m</u></p> <p>②何倍になったかを先に計算する。</p> <p style="text-align: center;">赤 $\xrightarrow{3倍}$ 青 $\xrightarrow{2倍}$ 黄</p> <p style="text-align: center;"> □倍</p> <p>$3 \times 2 = 6$ $2 \times 6 = 12$ A. <u>12m</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちに説明するためのメモをノートに書かせる。 ・シェアリング(グループ・クラス)をし、自分の考えと比べさせる。 ・全員に自分の言葉で説明する場を設定する。 ・全体で2通りの方法があることを確認する。 ・3倍の2倍が6倍になることをテープ図もつかって説明させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【話型を活用する】</p> <p>答えは12mになりました。どうしてそうなるのか関係図をつかかって説明します。まず、□を求めます。次に□を求めます。だから、答えは12mです。</p> </div>	
<p>5 まとめる。</p> <p>関係図をつかかって、順に計算する方法と何倍かを先に計算して考える方法で考えたら12m走ることが求められる。</p> <p>6 適用問題をする。</p> <p>7 本時の振り返りをする。</p> <p>8 次時の予告をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2通りの方法で考えさせる。 ・仮説に対する振り返りをさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係図をつかかって2通りの方法で解いている。〔数学的な考え方〕 (児童観察・発言・ノート)

【言語活動の充実】

設定した言語活動を通して育てたい力

- 3量の関係図と式を結びつけ、算数用語をつかかって順序よく説明することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 個人思考の時間を確保し、説明のためのメモをノートに書かせる。
- グループトークを設定して全員に発表の場をつくり、話型を活用して説明させる。
- 説明を聞くとき、自分の考えとの共通点や相違点を考えながら聞かせる。